

会員業績一覧

(2023年1月1日から2023年12月31日まで)

*会員の記載は五十音順(自己申告に基づいて作成)

石山 宏(山梨県立大学教授)

- 『検定簿記講義 / 2級商業簿記 <2023年度版>』(共著)(渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著) 2023年3月。
『検定簿記ワークブック / 2級商業簿記 <検定版第9版>』(共著)(渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著) 2023年3月。
「新勘定科目管見—収益認識会計基準における新勘定科目の検討—」『山梨国際研究』第18号, 2023年3月。
「ポイント制度に関する収益認識」会計理論学会第38回全国大会(大東文化大学)スタディ・グループ(代表:岩崎勇)『収益認識についての総合的研究—最終報告書—』(第2部第15章), 2023年9月。
「役務提供取引に関する収益認識—海運業を題材として—」会計理論学会第38回全国大会(大東文化大学)スタディ・グループ(代表:岩崎勇)『収益認識についての総合的研究—最終報告書—』(第2部第19章), 2023年9月。

市川 紀子(駿河台大学教授)

- 「地域創生における森林相続と管理(3)」(研究ノート)『駿河台大学地域研究』第4号, 2023年1月。
「地域創生における森林相続と管理(4)」(研究ノート)『駿河台経済論集』第32巻第2号, 2023年3月。
『エッセンス簿記会計(第19版)』(共著)(新田忠誓編著) 森山書店, 2023年4月。
「会計観の変容が簿記処理に与える影響」(フルペーパー)『日本簿記学会第39回関東部会統一論題「経営環境の変化と簿記」』(第Ⅱ部 統一論題報告論文集), 2023年6月。
「会計基準設定における米国会計学者の動向—1976年討議資料に対するコメントレターを踏まえて—」『會計』第204巻第1号, 2023年7月。
「収益認識会計基準の有償支給取引における変遷経緯と簿記処理」『新会計基準等が想定する帳簿記録と会計情報の研究』(日本簿記学会簿記理論研究部会(主査:吉田智也)最終報告書), 2023年8月。
「わが国の収益認識会計基準をふまえた概念フレームワークの重要性と可変性」『収益認識についての総合的研究』(会計理論学会スタディ・グループ(代表:岩崎勇)最終報告書), 2023年9月。
「財務諸表で企業を知る」『埼玉新聞』COLUMN 県内大学発経世済民 駿河台大学(655), 2023年10月。

岩崎 勇(大阪商業大学教授)

- 『財務会計Ⅱ』(監修) 東京法令出版, 2023年4月。
『収益認識についての総合的研究』(岩崎勇編著:会計理論学会スタディ・グループ(代表:岩崎勇)最終報告書), 2023年9月。
「収益認識の現代的意義」『収益認識についての総合的研究—最終報告書—』(会計理論学会スタディ・グループ(代表:岩崎勇)最終報告書), 2023年9月。
「変動対価に関する収益認識」『収益認識についての総合的研究—最終報告書—』(会計理論学会スタディ・グループ(代表:岩崎勇)最終報告書), 2023年9月。

岡本 紀明(立教大学教授・London School of Economics and Political Science (LSE) 客員研究員:2023年3月迄)

- Okamoto, N. (2023). "Finance without unified measurement framework: Rise of collective norm entrepreneurs in impact finance in Japan (Chapter 17)," in Othmar, M. L., Theresia, H., Hanna, S., and Olaf, W. (Eds.). *The Routledge Handbook of Green Finance*. Routledge: London (pp. 300-316).
Okamoto, N. (2023). "Social Ontology and the Identification of Generic Performativity in Social Science: A Case of Performative Financialization," *Philosophy of the Social Sciences*, Vol. 53, No. 4, pp. 303-326. (<https://doi.org/10.1177/004839312311774>)

長田 美悠子(中央学院大学准教授)

- 「環境会計を巡る長期的変化の動向—人口減少という未曾有の事態が何を齎すか—」『商経論叢』第37巻第2

号, 2023年3月。
「産業廃棄物に係る会計処理－産業廃棄物の最終処分並びに不法投棄等の環境汚染を巡る問題－」『商経論叢』第38巻第1号, 2023年9月。

越智 信仁 (関東学院大学教授)

「ESG 評価情報の意義と課題－行動規範の実践へ」『証券アナリストジャーナル』第61巻第2号, 2023年2月。
「AIによるESG評価とリスク」『社会関連会計研究』第34号, 2023年2月。
「重要な気候変動リスクの注記と監査－予備的考察と今後の課題」『Disclosure & IR』第26号, 2023年8月。
「中小企業財務報告の透明性改善に向けた多面的研究 (課題研究委員会・中間報告)」『中小企業会計研究』第9号, 2023年9月。
『AIによるESG評価－モデル構築と情報開示分析』(共著)(中尾悠利子・石野亜耶・國部克彦編著) 同文館出版, 2023年10月。
「中小企業決算開示の信頼性等に関する実証研究－金融機関への質問票調査を通じて」(共著)『会計』第204巻第4号, 2023年10月。
『中小企業決算の透明性と信頼性：改善に向けた実証・理論・実務研究』(共著) 中小企業会計学会課題研究委員会最終報告冊子 (第11回全国大会), 2023年11月。

小野 正芳 (日本大学教授)

「債権管理のための簿記」『日本簿記学会簿記理論研究部会最終報告書；新会計基準等が想定する帳簿記録と会計情報の研究』, 2023年8月。
「日本の学校法人会計基準における使途制限の表示－米国との比較－」『グローバル会計研究』第4号, 2023年9月。

梶原 太一 (高知県立大学准教授)

『簿記学 第3版』(共著)(矢部孝太郎編著) 税務経理協会, 2023年3月。
「遠隔授業時代の大学会計教育」『会計教育研究』第11号, 2023年6月。
『財務報告論 第3版』(共著)(矢部孝太郎編著) 中央経済社, 2023年9月。

金子 友裕 (東洋大学教授)

「記帳水準の現状と向上策」『税研』227号, 2023年1月。
『法人税法入門講義 第7版』中央経済社, 2023年3月。
「個人事業者の資格取得費の取扱いの検討」『ミロク情報サービス租税判例研究会レポート』108回, 2023年6月。
『決算書分析の方法と論理 第5版』(共著) 資格教育推進機構編, ネットスクール株式会社出版本部, 2023年6月。
「法人税法施行令22条の4第1項に規定する「外国子法人」の要件」『租税訴訟』16号, 2023年7月。
「事例研究 高額購入した棚卸資産の売上原価非該当性」『税研』39巻2号, 2023年7月。
「判例評論」『判例時報』773号, 2023年8月。
「事業支援－経営の支援と資金の支援の観点からの検討－」『税務会計研究』34号, 2023年9月。
「消費税額の簿記処理に関する考察」『産業経理』83巻3号, 2023年10月。
「小林裕明『課税所得計算と企業会計の接点と乖離』(同文館出版)」(書評)『産業経理』83巻3号, 2023年10月。
「インセンティブ報酬に対する法人税法の取扱いの検討」『税法学』590号, 2023年12月。

金子 善行 (帝京大学准教授)

『簿記原理トレーニング』(編集)(岩崎健久監修) 中央経済社, 2023年3月。
『エッセンス簿記会計 (第19版)』(共著)(新田忠誓編著) 森山書店, 2023年4月。
「金融投資目的の事業資産に対する課税 - リースにおける残存価値と投資不動産 - 」『会計』第204巻第1号, 2023年7月。

椛田 龍三（専修大学教授）

- 「サブプライム金融危機と会計基準の設定過程の関係－FASB スタッフ意見書第 157－4 号を中心に－」『専修商学論集』第 116 号，2023 年 1 月。
- 「スチュワードシップ情報の現代的な役割について」『会計学研究』第 49 号，専修大会計学研究所，2023 年 3 月。
- 「FASB/IASB における収益認識の会計基準の設定過程－2005 年までを中心として－」『専修商学論集』第 117 号，2023 年 7 月。
- 「FASB/IASB における収益認識の会計基準の設定過程の分析－2002 年から討議資料（2008 年）まで－」会計理論学会スタディ・グループ・岩崎勇編著『収益認識についての総合的研究－最終報告書－』会計理論学会，2023 年 9 月。

川津 大樹（星槎道都大学専任講師）

- 『FASB 概念フレームワークの形成過程の論理－質的特性を中心として－』専修大学出版局，2023 年 2 月。
- 「米国財務会計財団によるサステナビリティ報告の動向に関する考察－SEC による ESG 情報開示と FAF『戦略計画』の分析を中心として－」『会計学研究』第 49 号，2023 年 3 月。

菊谷 正人（法政大学名誉教授）

- 「日本における企業会計制度の変遷（2）」『経営志林』第 59 巻第 4 号，2023 年 1 月。
- 「消費税法におけるインボイス方式の導入」『イノベーション・マネジメント』第 20 号，2023 年 3 月。
- 「NISA（ニーサ）の拡充的展開」『経営志林』第 60 巻第 2 号，2023 年 7 月。

郡司 健（大阪学院大学教授）

- 「長州藩における天保の改革と会計制度の変容－天保期～安政期における長州藩会計制度の検討－」『大阪学院大学商・経営学論集』第 47 巻 2 号，2023 年 3 月。
- 「幕末維新期長州藩会計制度の変容－戦時下長州藩の一般会計と特別会計－」『大阪学院大学商・経営学論集』第 48 巻 1 号，2023 年 9 月。

坂内 慧（帝京大学助教）

- 「学会展望台 日本簿記学会第 38 回全国大会」『産業経理』第 82 巻第 4 号，2023 年 1 月。
- 『簿記原理トレーニング』（共著）（岩崎健久監修）中央経済社，2023 年 3 月。
- 『エッセンス簿記会計（第 19 版）』（共著）（新田忠誓編著）森山書店，2023 年 4 月。
- 『決算書分析の方法と論理 会社決算書アナリスト試験公式テキスト（第 5 版）』（共著）（新田忠誓監修）ネットスクール出版，2023 年 6 月。
- 『米国政府会計学説におけるふたつの会計思考の研究－政府全体会計思考と基金会計思考の歴史的変遷－』帝京大学大学院経済学研究科博士学位論文，2023 年 9 月。

神納 樹史（東京経済大学教授）

- 『エッセンス簿記会計』第 19 版（共著）（新田忠誓編著），森山書店，2023 年 4 月。
- 『会社決算書アナリスト試験公式テキスト』第 5 版（共著）一般社団法人 資格教育推進機構，ネットスクール出版，2023 年 6 月。
- 「イギリス連結会計の計算構造とのれん－Robertson and Javis [1980] 諸説と 1868 年の鉄道規制法を拠り所として－」『會計』第 203 巻第 6 号，2023 年 6 月。
- 「日本の連結財務諸表制度上の国際的な調和化」『東京経大会誌（経営学）－成川正晃教授追悼号－』第 320 号，2023 年 12 月。

仙場 胡丹（名古屋大学准教授）

- 「国立大学の環境報告書における第三者レビューの実態と変遷－法規制の影響とステイクホルダーの包含の視点から－」（共著）『社会関連会計研究』第 34 号，2023 年 2 月。
- Semba, H. D. and L. Wu (2023). "Does local vs. national government ownership, and auditor choice matter

for audit pricing? Evidence from China," *Journal of Financial Reporting and Accounting*. <https://doi.org/10.1108/JFRA-11-2022-0426>

「カーボンニュートラル宣言と温室効果ガス多排出企業の裁量行動」(共著)『社会関連会計研究』第35号, 2023年12月。

塚原 慎(駒澤大学講師)

「優先株式を用いた債務の株式化実施企業の財務的特徴」『経済科学』第70巻第3号, 2023年3月。

『エッセンス簿記会計(第19版)』(共著)(新田忠誓編著)森山書店, 2023年4月。

『決算書分析の方法と論理 会社決算書アナリスト試験公式テキスト(第5版)』(共著)ネットスクール出版, 2023年6月。

「学会ルポ 日本簿記学会第39回全国大会」『企業会計』第75巻第12号, 2023年12月。

中村 亮介(筑波大学准教授)

「債務契約における会計情報の現代的役割」『會計』第203巻第1号, 2023年1月。

『エッセンス簿記会計(第19版)』(共著)(新田忠誓編著)森山書店, 2023年4月。

西山 一弘(帝京大学准教授)

『簿記原理トレーニング』(共著)(岩崎健久監修)中央経済社, 2023年3月。

『エッセンス簿記会計(第19版)』(共著)(新田忠誓編著)森山書店, 2023年4月。

藤井 秀樹(京都大学名誉教授・金沢学院大学教授)

「人口減少下の公共サービス維持における郵便局の新しい役割—フィールド調査に係る理論的枠組みに照らして—」『金沢学院大学紀要』第21号, 2023年3月。

「書評・金森絵里『原子力発電の会計学』中央経済社, 2022年刊」『立命館アジア・日本研究学術年報』第4号, 2023年8月。

「使途制約がある寄付資産の元本維持とその会計処理—概念と論点の整理—」『公益・一般法人』No.1077, 2023年9月。

「ASBJ概念フレームワークの指導原理性と説明原理性—市川[2023]の問題提起の意義—」『収益認識についての総合的研究』(会計理論学会スタディ・グループ(主査:岩崎勇)最終報告), 2023年9月。

松井 泰則(大原大学院大学教授)

「非財務情報の開示を巡る国際的変遷—半世紀を振り返る—」『大原大学院大学研究年報』巻17号, 2023年3月。

松下 真也(京都産業大学教授)

「複式簿記のコントロール機能の教育に向けて—取引損益と商品販売事業戦略の意思決定—」『簿記研究』第5巻第2号, 2022年12月(ただし, 公開は2023年4月)。

「商品売買取引における現金割引の会計処理の研究: 非対称的な会計処理による対応関係の歪みと組替調整」『京都マネジメント・レビュー』第42巻, 2023年3月。

『会社決算書アナリスト試験 公式テキスト[第5版]』(共著)ネットスクール出版, 2023年6月。

溝上 達也(松山大学教授)

「大学簿記教育における帳簿組織」『松山大学百周年記念論文集』, 2023年10月。

『全経簿記上級 商業簿記・財務会計テキスト(第9版)』(共著)(公益社団法人全国経理教育協会 編)中央経済社, 2023年10月。

吉田 智也(中央大学教授)

『新財務会計I 教授用指導書』(共著)実教出版, 2023年3月。

『エッセンス簿記会計(第19版)』(共著)(新田忠誓編著)森山書店, 2023年4月。

『決算書分析の方法と論理 会社決算書アナリスト試験 公式テキスト』第5版(共著)(新田忠誓監修)一般

- 社団法人 資格教育推進機構, ネットスクール出版, 2023年6月。
- 「収益認識における変動対価と帳簿記録」『簿記研究』第6巻第1号, 2023年6月。
- 「商品有高帳と会計基準」『會計』第204巻第1号, 2023年7月。
- 『新会計基準等が想定する帳簿記録と会計情報の研究』(日本簿記学会簿記理論研究部会(主査:吉田智也)最終報告書), 2023年8月。
- 「わが国の複式簿記形成期における簿記教科書の分析(6)ー佐野善作(1897)『商業簿記教科書』にみる簿記目的論および簿記対象論ー」『商学論纂』第65巻第1・2号, 2023年9月。
- 『全経簿記上級 商業簿記・財務会計テキスト(第9版)』(共著)(公益社団法人全国経理教育協会編)中央経済社, 2023年10月。